




ラザフォード西側銘醸畑の中で4世代100年に渡り引き継がれてきた宝石のような畑、4代目のスティーヴ・トネラが造る希少なワイン

オーナー・ワインメーカーのスティーヴ・トネラがワインを造り始めたのは2010年からとまだ10年に満たないが、その自社畑は100年前に4世代前の大祖父・ジョゼフ・ボンティが1906年にイタリアから移民し、ポーリュウ・ヴィンヤードの最初のワインメーカーを務めたところから始まる。スティーブの祖父にあたるルイ・トネラがJ.J. ポンティ・トネラ・ヴィンヤードを引継ぎ、3世代に継承される畑は現在イングルヌック、スケアクロウに隣接する0.4haの宝石のような区画が現存。この畑ではVertical Cordon trained style/コルドンから垂直に伸ばして両側に枝を伸ばし添え木を使わない仕立てを100年続けてきている。近年この仕立ては多くのプレミアム・ワイナリーでも試され、その優位性（枝葉が葡萄の房を覆い直射日光を避けることができる）が認められ始めている（過去を見直す動き）。カベルネ・ソーヴィニオンはこの自社畑から、他は同じラザフォードやナバ・ヴァレー各地の畑を厳選して造る。



限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	Reserve Sauvignon Blanc Napa Valley リザーブ ソーヴィニオン・ブラン ナバ・ヴァレー	Napa Valley	白	2019	750	¥9,800	Sauvignon Blanc 85%, Semillon(organic) 15% ラザフォードとオークヴィルのヴァレー・フロアの畑から酸と果実の凝縮さがバランスするタイミングで収穫。仏産新樽(ライトトースト)で熟成 樽熟成させた濃密さとスパイス感が心地良い パニラや白胡椒のスパイス感や梨や熟した柑橘類がバランスする。口当たりは濃密で深みのある味わい
	Cabernet Sauvignon Rutherford Napa Valley カベルネ・ソーヴィニオン ラザフォード ナバ・ヴァレー	Oakville, Napa Valley	赤	2019	750	¥20,000	Cabernet Sauvignon 100% J.J. ポンティ・トネラ・ヴィンヤード(自社畑) ラザフォードの西側、イングルヌックやスケアクロウに隣接する0.4haの畑 仏産樽(新樽70%)で熟成 複雑さとタイトで引き締まった酒質がシンプルに伝わってくる。プラム、桑の実、ドライハーブ、ダークチョコレート、ペーキングススパイスのアロマが複雑に香り、フルボディで、ふくよかなタンニンと骨格を支える酸が存在。長く豊かな余韻。
	Reserve Proprietary BDX Blend Napa Valley リザーブ プロプライエタリーBDXブレンド ナバ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2019	750	¥25,000	Cabernet Sauvignon68%, Cabernet Franc22%, Malbec & Petit Verdot 10%のBDXホルダーブレンド ヴィンテージによりブレンド比率は変わる ラザフォードのペンチランド、オークヴィルのペンチランド、スタッグス・リープから品種に合わせてセレクト 仏産樽(新樽80%)で熟成 各品種の特徴が相乗効果を上げ、しなやかな丸みを持った口あたり、こなれた格上のタンニン、ゴージャスな黒系ベリー、ココアのニュアンスが口中に広がり、心地よい長い余韻が続く。



トネラ・セラーズ
S.R. TONELLA
CELLARS

ラザフォード西側銘醸畑の中で4世代100年に渡り引き継がれてきた珠玉の畑から
4代目のスティーヴ・トネラが造る希少なワイン



1950年台の地図

1906年サンフランシスコ大地震の後、イタリアからサンフランシスコの再建の為に移住してきたジョセフ・ボンティが全ての始まりとなった。ボンティはラザフォードの象徴的なポーリュウ・ヴィンヤードの初期のワインメーカーとなり、43年間勤め上げた。彼は1939年ゴールデンゲート国際博覧会で、1936VTGのポーリュウ・ヴィンヤード・カベルネ・ソーヴィニオンを金賞に導き、ラザフォードとナバ・ヴァレーの代名詞の礎とした。ボンティの甥であるルイ・トネラは、わずか17歳で叔父ジョセフを頼りポーリュウに入社し共に働き、ジョセフが引退する時、ラザフォードにある貴重な葡萄畑「J.J. Ponti Vineyard/ボンティ・ヴィンヤード」を受け継ぎ、その畑は今日まで4世代100年に渡って引き継がれている。その畑は初期から今までポーリュウ、ロバート・モンドヴィ、レイモンドなどが使う高品質な畑として認知されている。

畑の位置はラザフォードAVA、ナバの中心を走る国道29号線の西側マヤカマス山に続くならかな斜面にイングルヌック、スケアクロウ、ジョルジュ・ラトゥールなど銘醸畑が集結する中にわずか0.4haの宝石のような区画があり、昔ながらの仕立てで個性ある葡萄を栽培し続けている。



オーナー・ワインメーカー
スティーヴ・トネラ

現在のオーナーは初代のジョセフから4代目に当たるスティーヴ・トネラ。2代目ルイ・トネラが祖父に当たり、3代目の父がJ.J. ポンティ・トネラ・ヴィンヤードを栽培農家として現在まで引き継いだ。スティーブは幼い頃、父や祖父と一緒に畑を手伝いナバの暑い日差しを浴びながら、畑の作業を手伝い、3輪バイクで走り回った記憶が今でも心の奥底に残っている。成長し大学はカルポリ・サン・ルイ・オビスポ校で経営学の学位を取得、卒業後はワイン産業とは違うハイテク業界に入り、セールス・リーダーとして世界中を飛び回る。イタリア語とスペイン語に堪能で、イタリア・ローマとスペイン・バルセロナに住み、イギリスと日本にも滞在したことがある。3つの大陸を渡り歩いた後、やはり戻るべきはラザフォードであり、この珠玉の畑から自分自身のカベルネ・ソーヴィニオンを造る夢をついに2010年から実現させている。ワイン造りはまだ10年に満たないがこの地は幼い頃から近所付き合いをする良く知り尽くした人々が集まる。スティーブは、ワイン造りと共にラザフォードの発展の為に「ラザフォード・ダスト・ソサイエティ」の社長や重役も務め、地域の為に尽力し、様々なPR活動にも積極的に関わっている。



ソーダー・キャニオンの
テイasting・ルーム

ラザフォードの自社畑は0.4haにも満たない為、ソーダー・キャニオン(ナバ・ヴァレーの東、ナバ市街地より北東へ10分程)に、ワイナリー、テイasting・ルームがある。ナバ・ヴァレー全体の優良な栽培農家と密に連絡を取り合いながら、自社畑以外の葡萄を調達し、「トネラ・セラーズ」のラインナップを造り上げている。



リザーブ ソーヴィニヨン・ブラン ナパ・ヴァレー 小売価格(税別)
2019 Reserve Sauvignon Blanc Napa Valley 9,800 円

品種：ソーヴィニヨン・ブラン 85%、セミヨン 15%

AVA：ナパ・ヴァレー

畑：ラザフォードとオークヴィルのヴァレー・フロアの畑

収穫：酸と果実の凝縮さがバランスするタイミングで収穫

醸造：仏産新樽(ライト・トースト)で発酵・樽熟成

味わい：樽発酵/熟成からくる濃密さとスパイス感が心地良く、バニラや白胡椒のスパイス感や、和梨、熟した柑橘類のニュアンスがバランスする。口当りは濃密で深みのある味わい。

JEBDUNNUCK.com 92P July 2022 by Jeb Dunnuck 談：ボルドー・ブランのニュアンスを体現できる厚みとしなやかさに加え、瑞々しい酸と少しの塩味を感じるまさに食事のテーブルで真価を発揮するワイン。

輸入・販売 株式会社中川ワイン TEL: 03-5829-8161

ラザフォード西側銘醸畑の中で4世代100年に渡り引き継がれてきた珠玉の畑から 4代目のスティーヴ・トネラが造る希少なワイン

1906年サンフランシスコ大地震の後、イタリアからサンフランシスコの再建の為に移住してきたジョセフ・ボンティが全ての始まりとなった。ボンティはラザフォードの象徴的なボーリュウ・ヴィンヤードの初期のワインメーカーとなり、43年間勤め上げた。彼は1939年ゴールデンゲート国際博覧会で、1936VTGのボーリュウ・ヴィンヤード・カベルネ・ソーヴィニオンを金賞に導き、ラザフォードとナパ・ヴァレーの代名詞の礎とした。ボンティの甥であるルイ・トネラは、わずか17歳で叔父ジョゼフを頼りボーリュウに入社し共に働き、ジョゼフが引退する時、ラザフォードにある貴重な葡萄畑「J.J. Ponti Vineyard/ボンティ・ヴィンヤード」を受け継ぎ、その畑は今日まで4世代100年に渡って引き継がれている。その畑は初期から今までボーリュウ、ロバート・モンダヴィ、レイモンドなどが使う高品質な畑として認知されている。畑の位置はラザフォードAVA、ナパの中心を走る国道29号線の西側マヤカマス山に続くならかな斜面にイングルヌック、スケアクロウ、ジョルジュ・ド・ラトゥールなど銘醸畑が集結する中にわずか0.4haの宝石のような区画があり、昔ながらの仕立てで個性ある葡萄を栽培し続けている。



オーナー・ワインメーカー
スティーヴ・トネラ

現在のオーナーは初代のジョゼフから4代目に当たるスティーヴ・トネラ。2代目ルイ・トネラが祖父に当たり、3代目の父がJ.J. ボンティ・トネラ・ヴィンヤードを栽培農家として現在まで引き継いだ。スティーブは幼い頃、父や祖父と一緒に畑を手伝いナパの暑い日差しを浴びながら、畑の作業を手伝い、3輪バイクで走り回った記憶が今でも心の奥底に残っている。成長し大学はカルポリ・サン・ルイ・オビスポ校で経営学の学位を取得、卒業後はワイン産業とは違うハイテク業界に入り、セールス・リーダーとして世界中を飛び回る。イタリア語とスペイン語に堪能で、イタリア・ローマとスペイン・バルセロナに住み、イギリスと日本にも滞在したことがある。3つの大陸を渡り歩いた後、やはり戻るべきはラザフォードであり、この珠玉の畑から自分自身のカベルネ・ソーヴィニオンを造る夢をついに2010年から実現させている。ワイン造りはまだ10年に満たないがこの地は幼い頃からご近所付き合いをする良く知り尽くした人々が集まる。スティーブは、ワイン造りと共にラザフォードの発展の為に「ラザフォード・ダスト・ソサイエティ」の社長や重役も務め、地域の為にも尽力し、様々なPR活動にも積極的に関わっている。

この畑では Vertical Cordon trained style/コルドンを垂直に伸ばして両側に枝を伸ばし添え木を使わない仕立てを100年続けてきている。近年この仕立ては多くのプレミアム・ワイナリーでも試され、その優位性(枝葉が葡萄の房を覆い直射日光を避けることができる)が認められ始めている。(過去を見直し、近年の温暖化による強い日差しに対応する動きが検討されている)



特殊な仕立て
ヴァーティカル・コルドン



特別な Clone 412 and 685
/ボルドーに多い
小粒で果皮の割合が大きく
濃厚なワインとなる

カベルネ・ソーヴィニヨン・ラザフォード ナパ・ヴァレー
2019 Cabernet Sauvignon Rutherford Napa Valley

小売価格 20,000 円(税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100%

clone 412,685 ボルドーに多い 小粒で果皮の比率が大きい=濃厚なワインとなる

AVA：ラザフォード、ナパ・ヴァレー (ラザフォード国道より西側)

畑：J.J. ポンティートネラ・ヴィンヤード (自社畑)

イングルスックヤスケアクロウに隣接する 0.4ha の小さな区画。ヴァーティカル・
コルドン仕立。葉が葡萄の房を強い日差しから守り過熟にならないように注意する。

醸造：仏産樽(新樽 70%)で熟成

味わい：複雑さとタイトで引き締まった酒質がシンプルに伝わってくる。

プラム、桑の実、ドライハーブ、ダークチョコレート、ベーキングスパイスのア
ロマが複雑に香り、フルボディで、ふくよかなタンニンと骨格を支える酸が存在。
長く贅沢な余韻。

JEBDUNNUCK.com 90P May 2022 by Jeb Dunnuck 談：黒系果実とラザフォードらしい土
のニュアンスとスパイシーさが特徴。全体がまとまった完璧なスタイル。

輸入・販売 株式会社中川ワイン TEL: 03-5829-8161



リザーブ プロプライエタリー ボルドー ブレンド ナパ・ヴァレー
2019 Reserve Proprietary BDX Blend Napa Valley

小売価格 25,000 円(税別)

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 68%、カベルネ・フラン 22%、

マルベックとプティ・ヴェルド 10% ボルドーブレンド VTG により比率は変わる

AVA：ナパ・ヴァレー (ラザフォード、オークヴィル、スタッグス・リープ)

畑：ラザフォードは自社畑のポンティートネラ・ヴィンヤード (CS 主体)、

品種により最適のオークヴィル、スタッグス・リープの畑から長年の信頼
関係により最良の葡萄を調達。

醸造：仏産樽(新樽 80%)で熟成

味わい：各品種の特徴が相乗効果を上げ、しなやかなで丸みを持った口あたり、
こなれた格上のタンニン、ゴージャスな黒系ベリー、ココアのニュアンスが口中に広がり、
土壌からくる鉄分がワインを引き締める。心地よい長い余韻が続く。

JEBDUNNUCK.com 93P May 2022 by Jeb Dunnuck 談：ゴージャスな黒系果実、たばこの
葉、鉄分とスパイスが印象的。適度な熟度と旨味たっぷりのタンニン、長い余韻。

輸入・販売 株式会社中川ワイン TEL: 03-5829-8161

